

# 逆転の仙台育英

Since 1905



Sincerity, Confidence, Responsibility  
& Determination

## 2024（令和6）年度 事業報告

学校法人仙台育英学園

## 学校法人仙台育英学園 令和6年度事業報告

本学園は、創立以来、新しい時代や社会の求めるものを的確にとらえながら、社会のニーズに柔軟に対応できる有為な人材と社会に貢献できる人間の育成を目指し、建学の精神を基軸として、一世紀を超える歴史とこれまで築いてきたゆるぎない伝統を基盤に、私学としての特色ある教育活動を展開してきた。

また、創立125周年に向けて、私学人であることを常に自覚し、人口減少・少子高齢化、国際化、高度情報化社会の一層の進展に伴う価値観やライフスタイルの多様化、社会情勢の変化等を的確に把握し、そのような状況に柔軟に対応ができ、社会に貢献しようとする人材の育成を図ってきている。

2021年（令和3年）10月には、本学園の経営計画として「I-Challenge125」を再定義し、創立125周年となる2030年（令和12年）までの達成を目標として掲げられたSDGs（Sustainable Development Goals）に対しESD（Education for Sustainable Development）の視点を取り入れた事業に取り組んできている。



書道パフォーマンスグランプリ（千葉県にて）

は、絶えず教育環境の整備・充実を進めてきた成果であろう。さらに教育内容の充実・発展に努め、制限がある中でも生徒たちの活動のサポートを続けてきており、それが部活動各部の全国や東北地区、県内での活躍に繋がっていると言っても過言ではない。

2024年（令和6年）度においても、男子第75回女子第36回全国高等学校駅伝競走大会で、女子が3年連続での第2



男子駅伝競走大会第3位

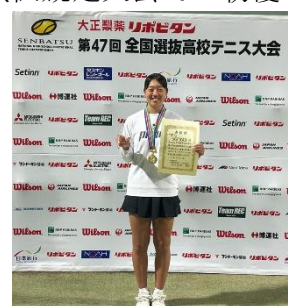
位、男子も第3位と入賞を果たしている。男子においては伊那駅伝競走大会での初優勝も果たした。さらに、第47回全国選抜高校テニス大会女子個人優勝、全国高等学校書道パフォーマンスグランプリ準優勝、また、進路では東京大学現役合格など、文武両面での生徒たちの活躍と充実した進学・就職実績といった目に見える具体的な成果に繋がった。



女子駅伝 榊中継



女子駅伝競走大会準優勝



全国選抜高校テニス優勝

## 1 教育事業

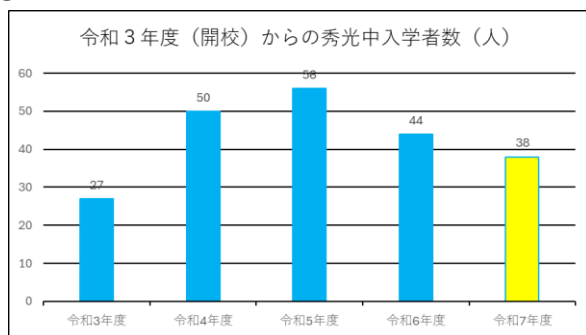
### (1) 秀光中学校・仙台育英学園高等学校秀光コース

2021年（令和3年）4月1日に開校した秀光中学校は、中学校から秀光コースへ続く6年間で「高度な学力・豊かな感性・生涯学習者としての自覚を持ち、持続可能な社会の構築のため『至誠』によって貢献するグローバルシティズンの育成」を教育目標とする併設型中高一貫校である。

中学1年から秀光コース1年次までは、MYP（Middle Years Programme）としてこれまでの学習と社会のつながりを学ばせながら、DP（Diploma Programme）に繋げるように学習が進められていく。日本語と英語でのイマージョン授業も取り入れてきた。

秀光コースの2年次以降は特別進学コースと合同クラス編成の医歯薬系志望者のためのMAP（Medical Academic Programme）、外国語コースとの合同クラス編成のELDP（English Language Diploma Programme）およびDLDP（Dual Language Diploma Programme）のいずれかを選択するクラス編成を行ってきた。

#### ① 秀光中学校における2学級編成可能な生徒数の確保



実現できるよう、これまで以上に広報活動等を進めていく必要がある。

開校した2021年（令和3年）4月の入学者は27人であったが、適性検査型や教科型の入試、秀光PA入試、秀光通年型選考（SIRA）など評価軸の異なる入試形態を設け、多彩な可能性を持つ生徒を募集してきた。小学校への広報活動や塾訪問を積極的に行い、この4年間においては2学級編成を可能とする生徒を迎えることができた。今後少子化が進む中でも、継続して2学級編成を可能にする生徒の入学が



#### ② 「サステナブル農業教育プログラム」（通称「SAAP」：Sustainable Agricultural Academic Program）

2023年（令和5年）度からスタートした本プログラムは、2024年（令和6年）度には安定したレタス栽培がおこなわれるようになり、理科的な探究活動を進めていくことが可能になってきた。写真は、秀光中、秀光コース等の生徒が参加したゼルコバホールでの東京大学教授である河鰭実之先生の「食料の未来：持続可能な農業と食料安全保障」と題した講演の様子である。講演では『プラネタリーバウンダリー（地球の限界

値）』という概念についての話があり、地球環境を守るために、今後、水・土地・肥料・化石燃料をできる限り使わない状況で100億人の食料をどう作っていくかという課題について、その一つの手段として、現在東和蛸雪校舎で実験を進めている植物工場が有効であることを学んだ。

#### ③ ワールドピースゲームの実践

世界的に実施されている教育プログラム「ワールドピースゲーム」を5日間にわたって実践した。ワールドピースゲームは、世界のさまざまな課題を参加者が話し合い、全員で解決することを目指す体験型シミュレーションゲームである。今回生徒たちは2つのグループに分かれ、グループ内に設定した4つの仮想国家の内閣（首相や国防大臣など）と国際機関のリーダー（事務総長や世界銀行総裁など）の役割を担い、交渉や決断を繰り返しながら、自らの国と世界の国々との課題解決を目指した。生徒たちは積極的にアイデアや解決策を出しながら真剣に取り組み、生徒たちにとって非常に有意義な5日間となった。2025年（令和7）度以降も継続することとしている。



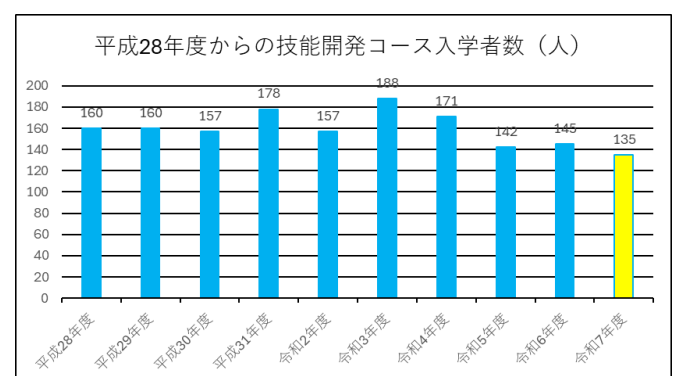
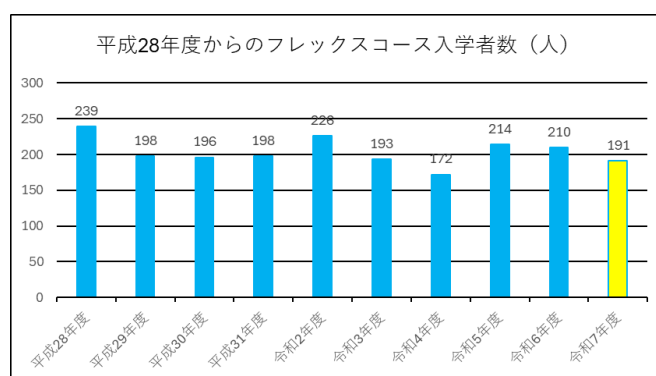
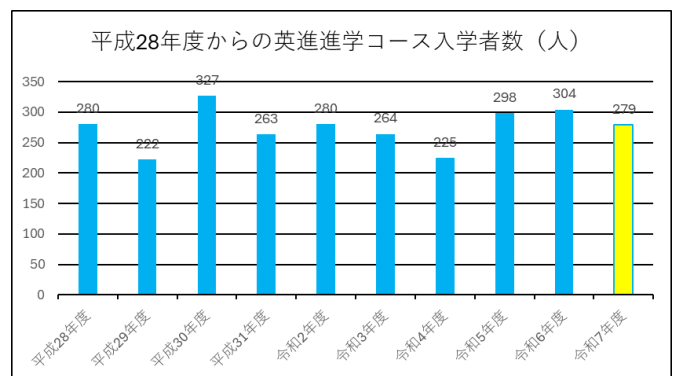
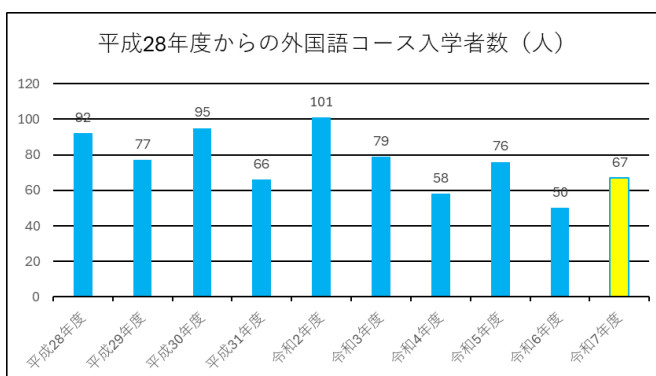
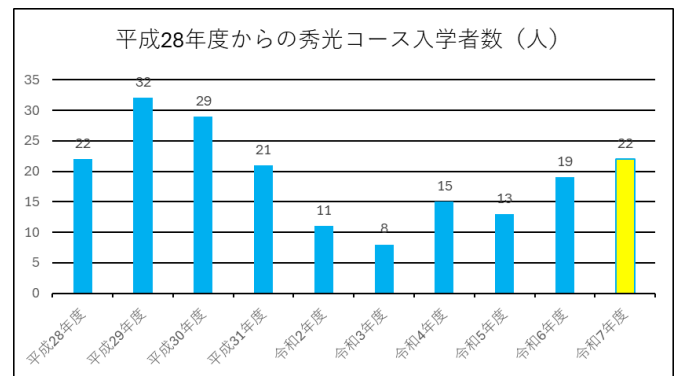
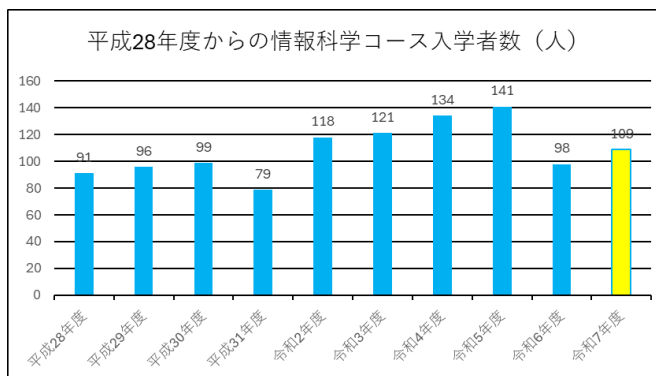
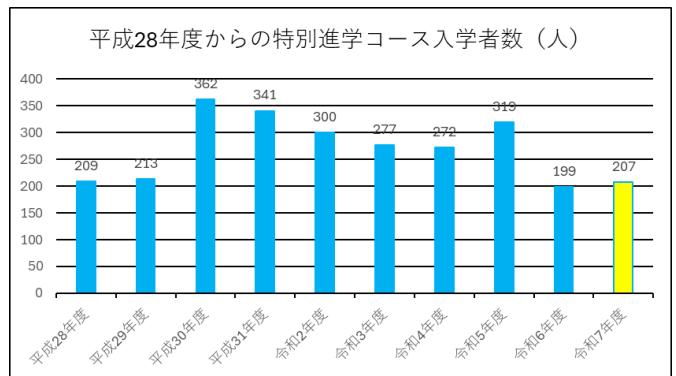
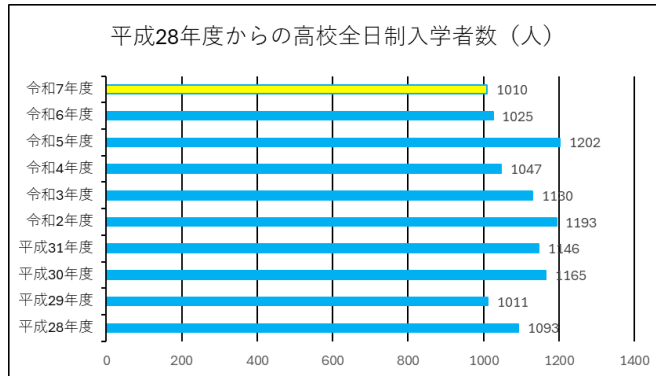
諸問題の解決のために話し合っている様子

## (2) 仙台育英学園高等学校（全日制課程）

1984年（昭和59年）に普通科総合コース制を導入して以来、一貫して魅力あるコースの創設とその充実に努めてきた。

### ① 定員を超える生徒数の確保

2019年（平成28年）度以降、定員を上回る生徒が入学してきており、2024年（令和6年）度も定員1000人を上回ることができた。これは、生徒の多種多様の夢や希望に対して、全教職員がきめ細やかで熱心な教育活動を進め、進路実績、生徒の様々な活躍に繋げることができていることに他ならず、県内外の中学生や保護者から高い評価を得られているものと考えている。



## ②MAP (Medical Academic Programme) の推進【特別進学コース】

MAP は医歯薬系大学及び国公立大学医療・医科学系への進学を希望する生徒を対象としたクラスで、2 年次から編成している。東北大学の医歯薬学系の先生方に専門分野についての特別講座を開設していただき、参加生徒の学習意欲や進学に対する意識の向上に役立てている。



MAP の授業の様子

2024 年（令和 6 年）度においては以下の特別講座を実施した。

〔医学部〕「人工知能時代の学びと脳科学」「ソーシャルディスタンスと脳科学」

〔医学部保健学科〕「病気の診断から死因究明を画像検査で ～AI と医療をコラボさせるには？～」

〔歯学部〕「口から始まる再生医療」

〔薬学部〕「細胞がストレスに適応するしくみを解明して新しい薬を創る」

## ③情報処理検定試験の合格者数増加【情報科学コース】

情報科学コースでは、教育課程において学



情報処理検定受験の様子

校設定科目に情報関連の科目を多く設定し、各種資格取得に力を入

れている。2024 年（令和 6 年）度においては、全国商業高等学校協会主催の情報処理検定試験（ビジネス情報・プログラミング）のビジネス情報部門の情報処理検定第 1 級の合格者が過去最高の 48 名となった。それ以外についても数多くの合格者を出している。

| 情報処理検定試験         | 合格者数（人） |
|------------------|---------|
| 第1級（ビジネス情報部門）    | 48      |
| 第2級（ビジネス情報部門）    | 82      |
| 第2級（プログラミング部門）   | 2       |
| 第3級（部門にはわかれていない） | 79      |

## ④シジュウカラガン復活プロジェクト【外国語コース】

このプロジェクトは、地域の人々にシジュウカラガンの盛衰に関わる歴史的・社会的事実を伝え、認知の向上と共存の心を育むことを目的とする普及啓発・情報発信活動である。外国語コースの高校生や留学生が、シジュウカラガン回復計画の中核を担ってきた日本雁を保護する会



シジュウカラガン観察会（化女沼）

会、ネイチャーポジティブ講義・ワークショップに参加した。2025 年（令和 7 年）5 月にはその功績が認められ第 79 回愛鳥週間「全国野鳥保護のつどい」野生生物保護功労者表彰において「環境省自然環境局長賞」を受賞した。



福室市民センターでの活動

だきながら、シジュウカラガンの観察体験やワークショップなどを通じて、対象に応じたプロモーションアイデアを生徒自らが考え出し、地域のイベントなどで直接的なコミュニケーションによりそれを実行するとともに、地域と世界に対し積極的に情報発信を行ってきたものである。

2024 年（令和 6 年）度で 3 年目となり、八木山動物公園でのイベント、福室市民センターまつり、「日本雁を保護する会」会長呉地正行会長様の講演会、シジュウカラガン観察

### ⑤BTEC の推進【英進進学コース】

BTEC プログラムは、2023 年（令和 5 年）度から本格導入し、2024 年（令和 6 年）度は 2 期生となる 3 年生 15 名、3 期生となる 2 年生 20 名が 720 時間の授業を履修して BTEC international Level3 Diploma の資格取得を目指した。



日本政策金融公庫の出張授業

授業においては、デザイン志向やアントレプレナーシップを取り入れた話し合い活動やプレゼンの演習、職場体験などを通して表現力や思考力の育成を目指しており、外部講師によるビジネスやジェネリックスキル（特定の専門分野に関係なく、全ての人に求められる能力で、コミュニケーションスキルや論理的思考力といった汎用的な技能の他、チームワークやリーダーシップ、倫理観などを含む態度・志向性、統合的な学修経験と想像的思考力などが含まれる。）の授業など多岐にわたった学習を進めてきた。

3 月に卒業した第 2 期生は全員が BTEC Diploma の資格を取得し、大学進学を果たした。中でも神奈川大学については BTEC Diploma 資格取得の指定校推薦で入学しており、今後このような大学が増えていくことが期待できる。主な進学先は以下のとおり。

神奈川大、法政大、明治学院大、國學院大、東洋大、武蔵野大、SBC 東京医療大  
順天堂大、Indian Hills Community College（アメリカ）

### ⑥アントレプレナーシップ教育【英進進学コース】



宮城大での活動の様子 1

アントレプレナーシップとは、様々な困難や変化に対し、与えられた環境のみならず、自ら枠を超えて行動を起こし、新たな価値を生み出していこうとする意思や精神のことで、英進進学コースでは「グローバルなキャリア形成を視野に入れた高い志を立て、自分の適性に応じた進路達成に係る意思決定力を身に付ける。」「他者を生かした組織経営に必要なリーダーとしての素養と進取の意気を持つ。」という目的にしたうえで、以下の 3 回にわたってワークショップを開催してきた。

◎第 1 回 2024 年（令和 6 年）5 月

講演「これからの時代に生きる生徒に向けてのメッセージ」

◎第 2 回 同年 9 月

宮城大学においてのアントレプレナーシップやドローン、ChatGTP に関するディスカッション及びグループ活動等

◎第 3 回 同年 10 月～11 月

柔軟で豊かな発想を創出し、物怖じせずにチャレンジする生徒を育成するワークショップ

生徒たちは新たな刺激を受けて、自らの進路について真剣に考えようとする姿勢が見られるようになった。また、宮城大との高大連携の中でアントレプレナーシップを学んでいくことは大学生活をイメージできる良い機会にもなった。

### ⑦多様な学校設定科目【フレックス・技能開発コース】

フレックスコース、技能開発コースでは生徒のニーズや進路希望状況を踏まえ魅力ある学校設定科目を開設し、生徒の学びに向かう主体的な態度を育成している。それぞれの講座の講師は、専門学校の教師や実際に店舗を営んでいるなどの外部の専門家に依頼し、生きた学びを得られるよう工夫している。



宮城大での活動の様子 2

◎フレックス・技能開発コースとも開設した主な科目

- ・キャリアサポート講座（進学・専門学校・就職）
- ・資格取得講座（英検・漢検・数検・書写検・ビジネス系検定・ニュース時事能力検定等）
- ・受験対策講座（国語・数学・英語・小論文等）
- ・就職試験対策講座（公務員養成・作文・簿記会計等）



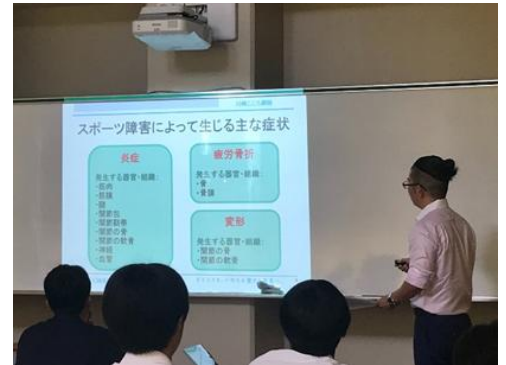
パティシエ・ベーカリー講座の様子

◎フレックスコースで開設した主な科目

- ・スポーツ関連講座（スポーツメディカル・スポーツと栄養）
- ・進学関連講座（大学・専門学校探究）

◎技能開発コースで開設した主な科目

- ・パティシエ・ベーカリー講座
- ・メイクアップ講座（基礎・応用）
- ・留学生用講座（社会福祉・介護福祉・日本語演習）



スポーツメディカル講座の様子

## ⑧電子図書館活用の推進

電子図書館は2021年（令和3年）10月に導入した。2022年（令和4年）度からの利用状況は右の表のとおり。

2024年（令和6年）度は、読書（多読賞）の対象について電子図書を利用する ILC 生徒にも拡大させた効果により、電子図書への関心が高まりログイン回数が増加したと考えられる。一方で、閲覧回数、貸出回数については伸びが見られないことから、電子図書館の利便性やコンテンツの情報発信に一層努めてなければならない。

## 電子図書館利用状況

| 年度    | 種別    | ログイン回数 | 閲覧回数 | 貸出回数 |
|-------|-------|--------|------|------|
| 令和4年度 | 期間合計  | 1759   | 2373 | 1031 |
|       | 1か月平均 | 147    | 198  | 86   |
| 令和5年度 | 期間合計  | 1894   | 2580 | 1146 |
|       | 1か月平均 | 158    | 215  | 96   |
| 令和6年度 | 期間合計  | 1951   | 2314 | 976  |
|       | 1か月平均 | 163    | 193  | 81   |

## （3）仙台育英学園高等学校広域通信制課程

1997年（平成9年）12月、宮城県から認可された先進的な通信制課程である。2001年（平成13年）には広域通信制の認可を受け、翌年4月に ILC 青森、2005年（平成17年）4月には ILC 東京（2012年度に閉校）、2014年（平成26年）4月には ILC 沖縄を開校し着々と広域化を進めてきた。

### ◆スクーリング会場

ILC 青森（八戸市湊高台） ILC 沖縄（沖縄市胡屋）

### ◆学習サポート施設

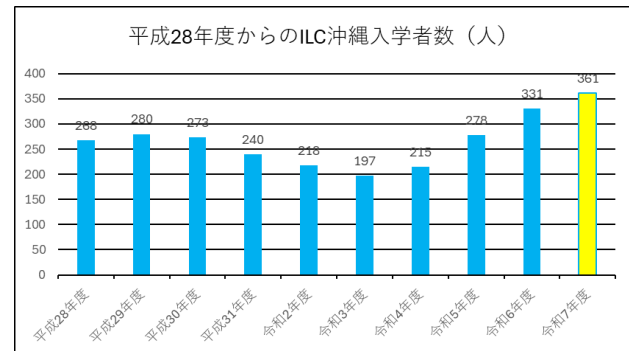
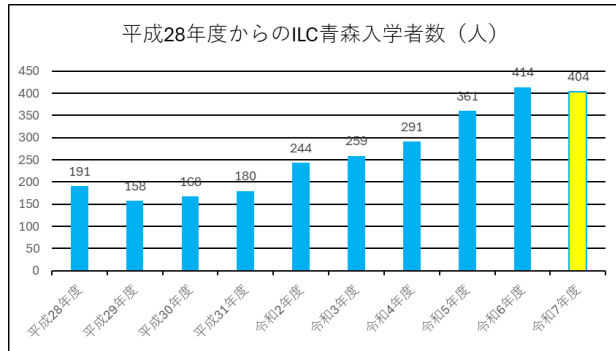
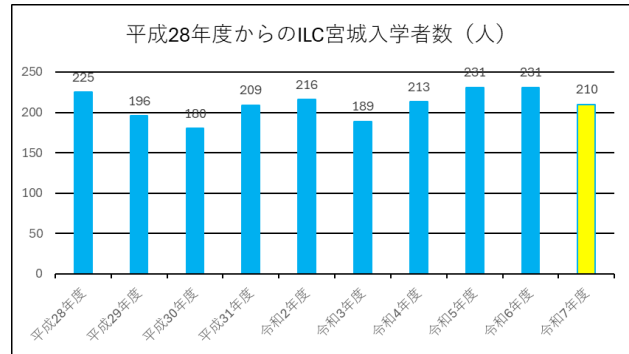
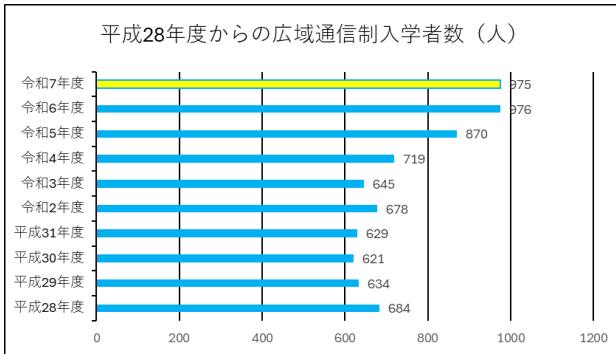
登米学習センター

登米学習センターは、東和蛭雪校舎で生徒募集の拠点機能を併せ持つ施設として活用しており、旧登米学習センターは2023年（令和5年）度より、介護福祉士を目指すインドネシアからの留学生寮として活用。

※ 山形学習センターの学習サポート施設機能は2022年（令和4年）3月末に終了。

## ①生徒数の確保

在籍生徒数は広域通信制課程全体では増加傾向が続いていたが、2025年（令和7年）4月1日の在籍数はほぼ昨年同様である。ILC 宮城は200人前後で推移しているが、ILC 青森については2017年（平成29年）度から増加しており、400人を超える状況になっている。ILC 沖縄については2021年（令和3年）度から増加傾向が続いている。2024年（令和6年）11月に広域通信制課程の収用定員の変更が認可され、ILC 全体で700人から1200人に、ILC 宮城は240人から280人に、ILC 青森は240人から520人に、そして ILC 沖縄が220人から400人となっている。



## ②4年以内の卒業を目指すために

履修者数を伸ばし、単位修得者数を増やすことが概ね4年以内の卒業を目指すことに繋がるになる。今年度も履修者数と単位修得者数の割合が伸びてきており、90%を安定的に上回るようになってきている。それに伴い修得単位数も伸びてきている。

今後も、生徒それぞれの目指す進路や学習計画に応じた指導・支援をきめ細やかに継続することで卒業生数の増加に努めていきたい。

履修者数等の推移

| 項目     | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 |
|--------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 履修者数   | 640    | 650   | 660   | 653   | 767   | 803   | 989   |
| 単位修得者数 | 561    | 578   | 608   | 608   | 700   | 747   | 934   |
| 割合（％）  | 87.7   | 88.9  | 92.1  | 93.1  | 91.3  | 93.0  | 94.4  |
| 総履修単位数 | 13142  | 13008 | 13932 | 13774 | 11670 | 14604 | 16469 |
| 総修得単位数 | 10391  | 10590 | 11628 | 11904 | 10137 | 12979 | 14983 |
| 割合（％）  | 79.1   | 81.4  | 83.5  | 86.4  | 86.9  | 88.9  | 91.0  |

## ③ILC 沖縄の部活動の活性化

ILC 沖縄では仙台育英学園沖縄高等学校とともに体育会運動部として、ライフル射撃部、なぎなた部、文化会学芸部としてeスポーツ部、投資部を開設し、部活動の活性化を図っている。

写真は投資部が活動する様子である。投資部については多くのメディアに取り上げられており、今後の活躍が期待される。



## ④卒業生の大学進学

卒業生の一部は大学に進学しており、その実績も生徒数の増加につながっていると考えられる。2024年（令和6年）度広域通信制課程卒業生の主な大学進学実績は以下のとおり。

【国公立大】弘前大、岩手県立大

【私立大】岩手医科大、創価大、沖縄国際大、人間環境大、東北学院大、八戸工業大、八戸学院大、東北工業大、東北文化学園大、東京農業大、大正大、北里大、仙台大、千葉商科大、成城大、尚絅学院大、石巻専修大、帝京平成大、埼玉学園大、青森大、名桜大 等

その他、海外の大学や通信制の大学、短期大学も複数進学

## (4) 仙台育英学園沖縄高等学校

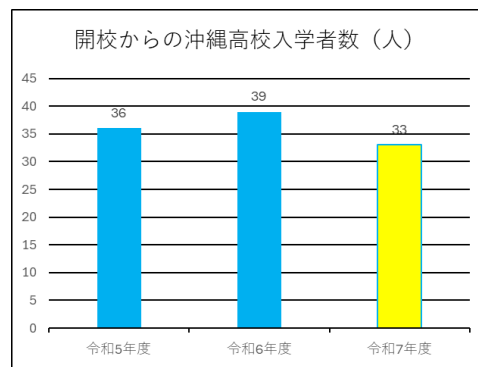
沖縄県の地域課題である教育格差や経済格差の解決に向け、ICT教育の推進のために、広域通信制課程 ILC 沖縄独自の e-フレックスコースを発展的に移行する形で 2023 年（令和 5 年）4 月に開校した。教育目標を「生活信条七ヶ条に則り現在と将来の自立を目指し、情報技術によって生まれる新しい絆を育む ICT エンジニアの育成」とし、生徒は経済的に自立するため ICT 分野での起業や就職を目指し日々努力している。国内外の大学や専門学校を目指している生徒も少なくない。

### ①生徒数の確保

2025 年（令和 7 年）4 月の入学者数は 33 名である。これらの生徒は昨年 11 月から実施してきた専願となる UP 入試（Uchina Promotion 入試・5 回）により選考してきた生徒である。沖縄県では公立高校入試について令和 7 年度入試から方法を変更したため、生徒にとっては高校の選択について難しい状況であった。次年度以降、生徒募集についてより一層力を入れていく必要がある。

#### ※UP 入試（Uchina Promotion 入試）

キャリアアップを図る入試、沖縄（うちなー）の振興を図る入試として、受験生の適性や潜在的な資質・能力を多面的かつ総合的に評価する。



### ②キャリア教育の推進

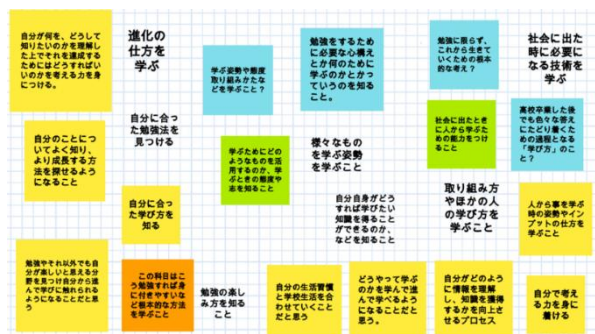
「経済的自立」のために就職や起業、大学等への進学を見据えてインターンシップを積極的に行うとともに、様々な企業等が実施する進路イベントにも積極的に参加してきた。左の写真はインターンシップの様子で、アプリの開発体験をしているところである。

また、参加した進路イベントは以下のとおり。

- ・学びミュージアム ・進路探究
- ・専門学校日経ビジネス ・ResorTech EXP02024
- ・探究 Day ・進路体験ガイダンス

### ③学力の質的向上

生徒の学力差を踏まえた個別最適学習を実施するため、各教科・科目において単元別自由進度学習や ICT 教材を利用して推進するとともに、授業の工夫や適切な観点別評価ができるような研究を進めてきている。授業の工夫の一例として、理科の「科学と人間生活」という科目では、右の図のように「学び方を学ぶとは何か」について生徒が協働してブレインストーミングを行うなど生徒同士が学びあい、協働しながら学んでいけるよう工夫している。



### ④教職員における「学び方を学ぶ研修」の実施

週 1 回水曜日に教職員を対象として研修会を継続して実施してきた。普段の授業の公開やシラバス作成、観点別の評価方法などについて ILC 沖縄と仙台育英学園沖縄高等学校の教職員が情報共有する場となっている。上記以外にも、校外での様々な研修の共有やスクールカウンセラーによるストレスコーピングの実施、学校行事の振り返りなど教職員のスキルを向上させることに繋げている。

### ⑤勝連運動場の竣工

2021 年（令和 3 年）から準備が始まったうるま市勝連南風原の勝連運動場が完成し、2025 年（令和 7 年）3 月に竣工式を終え供用を開始した。

## (5) 学園共通項目

### ①東和蛭雪校舎の活用

クラスごとに実施している1年生の東和蛭雪校舎研修では、創設者加藤利吉先生の顕彰碑の参



はっと練り体験の様子

拝、「蛭雪の間」や「栄光の間」の展示見学、「北の国（ふるさと）へ」の視聴、校歌の歌詞に込められた思いなどの学習を通して、建学精神を学ぶとともに帰属意識を高める機会としている。加えて、郷土料理「はっと」を練るグループ活動を通して、生徒同士の協力性や親和性を深めている。また、介護士を目指すインドネ

シア女子留学生に対して専門学校等への進学に必要な日本語能力の育成や生活指導を丁寧に行っている。さらに、植物工場は、サステナブル農業教育プログラム（SAAP）の実践の場として、各コース等のニーズに対応した取組を行っている。



インドネシアからの留学生の授業の様子

### ②指導力の向上

2024年(令和6年)度のブラッシュアップ研修は、コースの都合等で日程の変更があったが、新型コロナウイルス感染症の影響もほとんどなく、ほぼ予定どおり実施できた。また、遠隔地の先生方が当日参加できるようにすべての教科でオンライン配信を行った。ただし、他の会議や出張などと重なったりして出席できなかった先生方もいた。

2025年(令和7年)度は、昨年度まで1年間ですべてのコースを対象として研修を行ってきたところを、今年度からは2年間にわたって研修会を行うことによって、会議や他の事業等との重複を避けながら、多くの先生方が参加できるようにし、充実した研修を目指したい。

ブラッシュアップ研修実施回数は以下のとおりである。

国語、社会、数学、理科、英語、情報の各教科3回

### ③進路指導の充実

宮城野校舎に進路指導推進本部を置き、宮城野校舎、多賀城校舎それぞれに進路指導部長を配置し、高等学校全体で進路指導の充実に向けた体制づくりをしている。就職等についてもそれぞれの校舎に担当を置き個別の対応が可能にしている。

ア 大学進学率の向上を目指して

大学進学率向上のために「70%CLUB 統括推進委員会」を設置し、進学指導を推進してきた。卒業生数に対する大学進学率の目標を70%において指導してきているが、今年度は64%と一昨年に次ぐ進学率となった。今後も引き続き進路指導の充実を図り、進学率の向上に努めていきたい。

#### ●過去5年間の全日制課程全コース（秀光コースを含む）の大学進学率

| 年度          | 卒業生数<br>(人) | 進学希望者数<br>(人) | 大学進学者数<br>(人) | 大学進学準備<br>(人) | 卒業生に対する<br>大学進学率 (%) | 進学希望者に対する<br>大学進学率 (%) |
|-------------|-------------|---------------|---------------|---------------|----------------------|------------------------|
| 2024年(令和6年) | 948         | 656           | 608           | 48            | 64.1                 | 92.7                   |
| 2023年(令和5年) | 1042        | 729           | 655           | 74            | 62.9                 | 89.8                   |
| 2022年(令和4年) | 1137        | 815           | 765           | 50            | 67.3                 | 93.9                   |
| 2021年(令和3年) | 1083        | 754           | 684           | 70            | 63.2                 | 90.7                   |
| 2020年(令和2年) | 1084        | 738           | 661           | 77            | 61                   | 89.6                   |



●過去 5 年間の秀光コースの大学進学率

| 年度           | 卒業生数<br>(人) | 進学希望者数<br>(人) | 大学進学者数<br>(人) | 大学進学準備<br>(人) | 卒業生に対する<br>大学進学率 (%) | 進学希望者に対する<br>大学進学率 (%) |
|--------------|-------------|---------------|---------------|---------------|----------------------|------------------------|
| 2024年 (令和6年) | 24          | 24            | 19            | 5             | 79.2                 | 79.2                   |
| 2023年 (令和5年) | 13          | 13            | 13            | 0             | 100                  | 100                    |
| 2022年 (令和4年) | 12          | 12            | 12            | 0             | 100                  | 100                    |
| 2021年 (令和3年) | 16          | 16            | 13            | 3             | 81.3                 | 81.3                   |
| 2020年 (令和2年) | 27          | 27            | 23            | 4             | 85.2                 | 85.2                   |

※2024 年 (令和 6 年) 度の大学進学準備 5 人のうち 4 人が海外大学進学準備

●過去 5 年間の秀光コースを除く全日制課程の大学進学率

| 年度           | 卒業生数<br>(人) | 進学希望者数<br>(人) | 大学進学者数<br>(人) | 大学進学準備<br>(人) | 卒業生に対する<br>大学進学率 (%) | 進学希望者に対する<br>大学進学率 (%) |
|--------------|-------------|---------------|---------------|---------------|----------------------|------------------------|
| 2024年 (令和6年) | 924         | 632           | 589           | 43            | 63.7                 | 93.2                   |
| 2023年 (令和5年) | 1029        | 716           | 642           | 74            | 62.4                 | 89.7                   |
| 2022年 (令和4年) | 1125        | 803           | 753           | 50            | 66.9                 | 93.8                   |
| 2021年 (令和3年) | 1067        | 738           | 671           | 67            | 62.9                 | 90.9                   |
| 2020年 (令和2年) | 1057        | 711           | 638           | 73            | 60.4                 | 89.7                   |

●4 年制大学合格者数 (複数合格を含む)

| 年度       | 2017年<br>(平成29年) | 2018年<br>(平成30年) | 2019年<br>(令和元年) | 2020年<br>(令和2年) | 2021年<br>(令和3年) | 2022年<br>(令和4年) | 2023年<br>(令和5年) | 2024年<br>(令和6年) |
|----------|------------------|------------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 国公立大 (人) | 70               | 67               | 86              | 73              | 104             | 95              | 88              | 86              |
| 私立大 (人)  | 714              | 802              | 731             | 756             | 881             | 1034            | 867             | 838             |

イ 就職指導の充実を目指して

就職指導部では、教職員と連携を図りながら就職の窓口となるだけでなく、専修学校・各種学校等への進学希望者に対しても丁寧な指導を心掛け生徒一人一人の希望する進路達成を実現している。2023 年 (令和 5 年) 度より、デジタル化の推進により「Handy 進路指導室」(2024 年 (令和 6 年) 度には全国約 1700 校で利用) を用いて、民間企業の求人票をデジタルで生徒に提供し、閲覧検索をできるようにした。2024 年 (令和 6 年) 度に本校に寄せられた求人票は県内外から 2272 件であった。就職等に関する実績は以下のとおり。

就職希望者 83 名 就職者数 83 名 (卒業生の 8.7% 令和 5 年度は 9.1%) 就職率 100%

内訳: 学校推薦 61 名 自己開拓・縁故等 13 名 公務員 9 名

主な就職先: ロピア、トヨタ自動車東日本、ヤマダデンキ、東邦運輸倉庫、サイコー、仙台空港鉄道、ヨークベニマル、佐川急便、JR 東日本東北総合サービス、青葉冷凍

公務員: 宮城県警察官 防衛省自衛官 塩釜地区消防事務組合消防本部消防官

専修学校・各種学校への進学者数 197 名 (卒業生の 20.7% 令和 6 年度は 20.1%)

主な内訳: 工業系 47 名 文化・教養系 36 名 衛生系 35 名 商業・実務系 26 名  
看護・医療系 23 名

## 2 教育外事業

### (1) 法人業務 (理事長・業務執行理事の業務執行報告を兼ねる)

#### ①会議等

ア 理事会及び評議員会の開催: 10 回

5/31、8/6、9/11(2 回)、11/20、1/8、3/1、3/31、5/29、6/9

イ 監査会の開催: 1 回 5/29

ウ 公認会計士新創監査法人による監査往査: 8 回





10/15・16、12/9・10、1/16・17、1/23・24、2/20・21、3/10・11  
4/18・19、5/15・16・17

エ 事務運営委員会の開催：随時

オ 社会保険労務士への相談：随時

## ②管理運営に係る規則等の所要の整備：31件

- ア 学校法人仙台育英学園慶弔規定の一部改定について（5/31）
- イ 学校法人仙台育英学園理事選任機関運営規則の制定について（8/6）
- ウ 学校法人仙台育英学園評議員選任委員会運営規則の制定について（8/6）
- エ 学校法人仙台育英学園寄附行為の全面改訂について（9/11）
- オ 学校法人仙台育英学園給与規定の一部改定について（11/20）
- カ 仙台育英学園高等学校広域通信制課程学則の一部改定について（1/8）
- キ 学校法人仙台育英学園外国人職員勤務規定の一部改定について（1/8）
- ク 学校法人仙台育英学園非常勤講師等勤務規定の一部改定について（1/8）
- ケ 学校法人仙台育英学園臨時職員勤務規定の一部改定について（1/8）
- コ 学校法人仙台育英学園育児休業等に関する規定の一部改定について（1/8）
- サ 学校法人仙台育英学園介護休業に関する規定の一部改定について（1/8）
- シ 学校法人仙台育英学園内部統制システム整備の基本方針の制定について（1/8）
- ス 学校法人仙台育英学園文書管理規程の制定について（1/8）
- セ 学校法人仙台育英学園内部監査規程の一部改定について（1/8）
- ソ 学校法人仙台育英学園リスク管理規程の制定について（1/8）
- タ 学校法人仙台育英学園コンプライアンス推進規程の制定について（1/8）
- チ 学校法人仙台育英学園内部通報規程の制定について（1/8）
- ツ 仙台育英学園高等学校学則の一部改定について（3/31）
- テ 秀光中学校学則の一部改定について（3/31）
- ト 仙台育英学園沖縄高等学校学則の一部改定について（3/31）
- ナ 学校法人仙台育英学園理事会運営規則の制定について（3/31）
- ニ 学校法人仙台育英学園評議員会運営規則の制定について（3/31）
- ヌ 学校法人仙台育英学園財務書類等閲覧等規則の一部改定について（3/31）
- ネ 学校法人仙台育英学園財務書類等謄本及び抄本交付規程の制定について（3/31）
- ノ 学校法人仙台育英学園監事監査等職務規則の制定について（3/31）
- ハ 学校法人仙台育英学園経理規程の一部改定について（3/31）
- ヒ 学校法人仙台育英学園運営管理規則の一部改定について（3/31）
- フ 学校法人仙台育英学園と役員との補償契約に関する規程の一部改定について（3/31）
- ヘ 学校法人仙台育英学園役員報酬規則の一部改定について（3/31）
- ホ 学校法人仙台育英学園事務運営委員会規則の一部改定について（3/31）
- マ 学校法人仙台育英学園公印取扱規則の一部改定について（3/31）

## ③教育環境の整備・充実等

- ア 宮城野校舎
  - ・ピクニックテーブルの更新
  - ・ローズホール券売機の更新
  - ・ローズホールに給水スポットとして冷水器を設置
  - ・オークルーム、大会議室、ゼルコバホールのプロジェクター整備
- イ 多賀城校舎
  - ・ライオンズホール1階防犯カメラ増設工事の実施
  - ・ピクニックテーブルの更新
  - ・南区第2キュービクル高圧受変電設備工事の実施



- ・ウエストウィング2階、3階へ給水スポットとしての冷水器の設置
  - ・南区イーストウィング1階、2階のエアコン更新工事の実施
  - ・南区イーストウィング北側アスファルト舗装工事の実施
  - ・中区サッカー場街灯改修工事の実施
  - ・中区真勝園グラウンド1塁側、3塁側及びバックネット裏のフェンスとブルペンネットの改修工事の実施
  - ・中区柔道場床改修工事の実施
- ウ 仙台育英学園沖縄高等学校
- ・栄光校舎への太陽光パネル設置
  - ・勝連運動場造成工事完了
  - ・勝連運動場管理棟への太陽光パネル設置
  - ・勝連運動場へのWi-Fi整備

## (2) 学校施設貸与事業

本学園の交通の利便性、施設の充実等が利用業者に認めていただき、18件の施設貸与を行った。主な利用は以下のとおり。

英語検定9回、公開模試5回、会議等4回

英検や公開模試等については、小学生や中学生が受験することが多く、本学園の施設設備の状況を見ていただくために非常に有効な機会であり、今後も可能な限り施設貸与を進めていきたい。

## (3) 物品販売事業

2023年（令和5年）度からジェンダーレスの観点から女子の制服にブレザー・スラックスを取り入れた。それを着用している生徒もいる。職員向けの新仕様のジャンパーやポロシャツも販売している。また、甲子園優勝を機としてマフラータオルの需要が増えたことから、素材の変更と価格改定を行い、「せんだいまなびや」での販売を促進してきた。



植物工場でのレタスの収穫

2024年（令和6年）度には、東和蛸雪校舎内にある植物工場で栽培しているレタスについて、安定的に収穫できるようになってきたことから、定期的に業者に納入し利益を得ることができるようになっている。

## (4) シャトルバス事業

シャトルバス事業単体の収支状況をより持続可能なものとしていくため、2024年（令和6年）度においては、生徒の利用状況をきめ細かく分析し、これまで11コースあったシャトルバスを9コースにし、土曜日の運行休止は継続とした。ラインについては2023年（令和5年）度の編成を継続している。運賃や手数料の値上げは行わなかった。2025年（令和7年）度からはこれまでの回数券から定期券に変更し、収支状況を安定させたうえで事業の維持向上に努めていきたい。

## (5) 学園寮事業

学園寮として6施設があり、準学園寮として民間アパート、外部寮として5つの施設と契約している。学園寮については施設の老朽化等に伴っての改修を随時行ってきた。さらに、エアコンや洗濯機等の電化製品の入れ替えや修理なども行ってきた。

現在の入寮の状況は、約92%で例年と同程度の定員充足率で、硬式野球部、ラグビー部、サッカー部、陸上競技部長距離、男子バレーボール部、留学生等が入寮している。

インドネシアからの介護福祉士志望の留学生についてはHOME（迫）に入寮させている。

### 3 財務の概要

#### (1) 収入状況について

収入は予算額に到達はしなかったものの概ね予算に近い状態で執行できた。

##### ア 学生生徒等納付金収入

授業料収入の決算額は予算額に満たなかったが、2024年（令和5年）度末に1,042名の卒業生を送り出し、2025年（令和6年）度の新生は1,025名となり引き続き収用定員3,000名を上回る状況であった。

##### イ 寄付金収入

仙台育英学園教育振興会や父母教師会から受けた寄付をI-Challenge125基金・加藤利吉記念奨学基金に増額した。また、協賛各企業様からは日本私立学校振興・共済事業団の受配者指定寄付金制度を活用する形で、駅伝競走大会、ラグビーフットボール大会など各種全国大会出場に対する寄付を受けた。

そのほかにも、同窓生・職員・職員OB・保護者等からも震災義援金や経常経費等を含む寄付金を幅広く受けた。

##### ウ 補助金収入

国からは、通信制課程の私立高等学校等経常費補助金の他、理科教育設備整備費等補助金、私立学校施設設備費補助金、学校教育設備整備費等補助金等の交付を受けた。

県からは、私立学校運営費補助金、私立高等学校安全設備等整備費補助金、私立学校授業料軽減特別事業補助金、私立高等学校等就学支援金事務費交付金、私立高等学校等入学金軽減事業補助金、結核検診等補助金の他、私立学校原油価格高騰対策事業補助金等の交付を受けた。

そのほか、仙台市私立学校振興補助金、仙台市並びに八戸市より結核定期健康診断補助金の交付を受けた。

##### エ 資産売却収入

校用車として所有していた車両の売却収入等があった。

##### オ 付随事業・収益事業収入

補助活動収入として自動販売機設置手数料、食堂使用に伴うガス代収入並びに入寮等に伴う収入があった。併せて県から受託した緊急カウンセラー活用事業に係る収入があった。

##### カ 雑収入

学内施設貸与による施設設備利用料収入、宮城県退職金社団からの退職手当給付金収入のほか、その他の雑収入として、Classiサービス利用料、Slack利用料、セキュリティ対策費、加算電気料等の収入があった。

##### キ 借入金等収入

既存債務の借り換えおよび、学内各所の整備更新工事および勝連運動場施設造成工事ならびに運転資金として借り入れた収入である。

##### ク 前受金収入

2025年（令和7年）度入学生の入学金、施設設備費のほか、私費留学生の2025年（令和7年）度学納金を受け入れた。

●収入の部合計 8,462,916,734円 差引 212,959円の増となった。

#### (2) 支出状況について

事業目標具現化のため予算の有効な執行を行った。

##### ア 人件費支出

教職員の適正配置及び宮城県人事委員会給与勧告を参考とした給与規定見直しを実施した。

##### イ 教育研究経費

世界情勢の不安定化に伴っての燃料費や原材料費の価格上昇の影響を受け、消耗品費等の増加があったものの、印刷製本費や賃借料をはじめ全体的な経費節減に努めた結果、前年度実績

から大きく減少した。

ウ 管理経費支出

金額が大きなものとして、委託・手数料及び補助活動事業支出であるが、シャトルバス運行経費並びに寮生の食事代がその内訳である。

エ 借入金等利息支出

オ 借入金等返済支出

財務基盤を安定・充実に務めるため、市中金融機関への既存債務に係る借換えを実施したほか、沖縄振興開発金融公庫並びに市中金融機関への長期借入金返済を計画どおり執行した。

カ 施設関係支出

多賀城校舎ではウエストウィング 3 階中講義室およびイーストウィング 1 階ほかエアコン更新工事、南区第 2 キュービクル更新工事を実施し、宮城野校舎ではオークルームほかプロジェクター整備等を行った。また、仙台育英学園沖縄高等学校では勝連運動場造成工事完了および勝連運動場管理棟ならびに栄光校舎への太陽光パネル設置等を施工した。

キ 設備関係支出

防犯カメラシステム導入による安全設備対策、教育研究用機器備品の整備、図書整備等を推進した。

ク 資産運用支出

第 3 号基本金引当特定資産として同特定資産の増額積み立てを行った。

●支出の部合計 8,462,916,734 円 差引 212,959 円の増となった。